

区分	専門分野	単位	3単位
科目名	統合実習	時間数	90時間
講師名	専任教員	履修学年	3年次
概要	<p>1. 人間、健康、看護について理解し、あらゆる健康レベルにある対象に対して知識・技術・態度を統合し、看護を実践できる能力を身につける。</p> <p>2. 対象の健康や生活を守る保健医療福祉の提供に向けて、お互いの職種の特徴を活かし対象の目標達成に向けてより良い方法を検討し、実現をめざす基礎的能力を養う。</p>		
学習目標	<p>1. コミュニケーション技術を活用し、対象を統合的に理解することができ、個別の対象に必要な援助を看護チームのメンバーの一員として実践・評価できる。（看護チーム内でのコミュニケーション能力含む）</p> <p>2. あらゆる健康レベルにある対象に対し、基礎的知識・技術・態度を統合して安全・安楽な看護を実践できる。（特に基礎技術の水準を意識するとともに安全と倫理観に重点を置く）</p> <p>3. 保健医療福祉システムにおける看護職と他職種の役割の違いを理解し、対象の目標を共有し相互に尊重し合うなかでチームとしての意思決定を体験し、連携・協働に向けて方向性を理解できる。</p> <p>4. 専門職業人として成長・発達し、看護を追及する態度を身につける。</p>		
授業内容（実習内容）			
<p>実習場所：市内病院施設</p> <p>実習方法：実習オリエンテーション（2h）、臨地実習（72h）、学内実習（16h）</p> <p><病棟実習></p> <p>1.日勤実習（56h） 状況判断を要する経験ができる患者を複数（2名）担当する。</p> <p>2.夜間実習（8h） 指導者の指導のもと行動を共にする実習を行う。</p> <p>3.リーダー実習（8h） 指導者の指導のもと行動を共にする実習を主とし、次の勤務帯への申し送りに参加する。</p> <p><学内実習></p> <p>1.グループワーク（8h） 臨地で体験した複数患者・多重課題の事例についてグループワーク・発表を行い、情報の共有化を図る。また、グループワークを通して目標達成度から見える今後の課題を明らかにする。</p>			

2.多職種連携実習（8h）

事例を通して、他職種の役割・機能の理解を深め、多職種連携について考えるとともに看護師の役割を追求する。

実習内容：別紙参照

使用教科書・教材・参考書

各実習先で必要な教本を参照

成績評価の方法

出席状況、実習目標の達成度、実習姿勢、記録物による総合評価

備考

実習準備・オリエンテーション実習開始前に行う。

実習前に課題レポートを提出する。

実習期間中は、自己の健康管理に十分留意する。